

FOOD WORKS 8246（フードワークスやつしろ）整備事業（仮称）

1. 事業の背景・目的

【背景】①有効に活用できていない市有施設

②働く場所がなく、人口流出が進み、過疎化が進行する地域

③物産や観光の振興につながる稼げる物産の欠如

【目的】①過疎地域で機能が縮小された市有施設を活用し、地域住民のコミュニティ機能の維持する。

②新たな加工品の開発、製造の場を整備し、地域の雇用の場を創出する。

③新たな加工品を市内の物産館や飲食店などにも展開し、物産振興や誘客に波及させる。

加えて、ふるさと納税の返礼品にも活用し、寄附額を増やしていくことで、本市の“まちづくり”の財源も獲得し、地域発展の好循環を生み出す。

2. 事業の概要（R7年度） ※R8年度に予算を繰越して事業継続中

① 【拠点整備事業】フードワークスやつしろ整備

② 【効果促進事業】ホームページ制作（オンラインショップ機能含む）、パンフレット及びチラシ制作

3. 本事業における重要業績評価指標

| 指標名 | | 開始 | R7 | R8 | R9 |
|------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 市町村民経済計算：八代市の農業及び水産業合計値(百万円) | 目標値 | — | 15,111 | 15,269 | 15,427 |
| | 実績値 | 14,637 | 15,765 | | |
| 整備した施設での加工品出荷量(kg) | 目標値 | — | 0 | 4,800 | 7,200 |
| | 実績値 | 0 | 0 | | |
| 【重点テーマ】地域公社の付加価値額(千円) | 目標値 | — | — | 24,000 | — |
| | 実績値 | 0 | 0 | | |

4. 事業の地方創生への効果

地方創生に効果があった

既存施設を有効活用することにより、低価格で施設整備が図られることに加え、新たな加工施設の開発、製造、過疎地域での雇用の場の創出、地域住民のコミュニティ維持が見込めることから、「地方創生に効果があった」と評価している。

5. 経費内容・事業実績（R7年度）、取組概要（R8年度）

| 経費内容（R7年度計画） | 事業実績（R7年度） | 取組概要（R8年度） |
|---|---|--|
| ①【拠点整備事業】フードワークスやつしろ整備 | | |
| 182,881千円 (R7年度9月補正時経費) ○工事請負費：157,526千円 ○備品購入費：25,355千円 | 0千円 （事業実績額⇒全額繰越し） ○工事請負費：0千円 ○備品購入費：0千円 | 182,881千円 (年度当初経費) ○工事請負費：157,526千円 ○備品購入費：25,355千円 |
| ②【効果促進事業】ホームページ制作（オンラインショップ機能含む）、パンフレット及びチラシ制作 | | |
| 6,397千円 (R7年度9月補正時経費) ○ホームページ制作(オンラインショップ機能含む)：4,400千円 ○パンフレット及びチラシ製作費：1,997千円 | 0千円 （事業実績額⇒全額繰越し） ○ホームページ制作(オンラインショップ機能含む)：0千円 ○パンフレット及びチラシ製作費：0千円 | 6,397千円 (年度当初経費) ○ホームページ制作(オンラインショップ機能含む)：4,400千円 ○パンフレット及びチラシ製作費：1,997千円 |
| 189,278千円 | 0千円 | 189,278千円 |

6. 成果・課題・今後の方針

| 成果 | 課題 | 今後の方針 |
|--|---|---|
| ①【拠点整備事業】フードワークスやつしろ整備 ②【効果促進事業】ホームページ制作（オンラインショップ機能含む）、パンフレット及びチラシ制作 | ○改修工事の中で、一番大きな課題となっているのが、4月に国の規格が変更となったキュービクルの製造であり、その製作期間によって、改修工事の期間が大きく左右される。 ○改修後の施設運営について、市も出資する地域公社を指定管理者とし、運営を行う予定であるが、時間に制約があるため、着実に手続きを行う必要がある。 | ○まずは、できるだけ早く改修工事を完了させる。 ○次に、着実に地域公社の設立、指定管理者の導入手続きを済ませ、運営体制を整える。 ○新たな加工品の仕入れや出荷が計画通りに行えるよう調整を進める。 ○目標通りの売上げが成り立つようプロモーション等を行う。 |

7. 事業総括

令和7年度に入ってから、国の交付金申請を行うこととなったため、改修工事の期間が十分に確保できない状況の中、令和7年8月豪雨や令和8年4月からの国のキュービクルの規格変更などの影響もあり、予算を全額繰り越すことになったものの、着想から国の交付金申請、改修工事の着手に至るまで、スピード感を持って取り組んでいる。

しかしながら、施設が稼働し、市の魅力向上や財源につながる加工品が出荷されて初めて、この事業の成果となることから、今後もスピード感を維持し、早期に本格稼働ができるよう、関係機関等との調整を進める。